

## AF350取扱説明

電池： 電池残量を確認したい場合は ON/TUNE スイッチを回し人差し指の所にあるレバーを軽く引いて下さい。この時にBATTERY GOODの四角の中に針が入っていれば電池の残量は問題ありません。もし残量が足りない場合は新しい電池に交換してください。単三電池 8 本で 20 時間程度使用できます。充電式電池での使用も可能です。但し充電電池使用の場合は通常の単三電池より使用可能時間は短くなります。

TUNE (スピーカーの音量調整) : ハム音 (ピーと言う音) がかすかに聞こえる程度で大丈夫です。カチッと音がした位置から少し上位でお使いください。上げ過ぎると検知音が識別できなくなりますので注意。

SENS (感度調整) : HIGH 高感度、MED 中感度、LOW 低感度が選べます。探す物、環境に合わせて感度を調整して下さい。

### 設定方法

ON/TUNE スイッチを右に回してカチッと音がする位置から少し上にして下さい。(その時 ハンドルについている TRIGGER (金属の引き手) を引いてください。トリガーを引くとメーターの針が動き電池の残量を示します。BAT GOOD の四角に針が入っている事を確認し、電池残量が足りない場合は新しい電池 (単三 8 本) に交換してください。

その後はループを左右にゆっくりふっていただき“ビーブ”が鳴りメーターに反応があれば金属に反応しているということです。アンテナの振り方は添付の資料をご覧ください。

### ループ別探知可能深度

対応深度 (オプションの 40cm ループ) : 最大約 140cm までの探知が可能

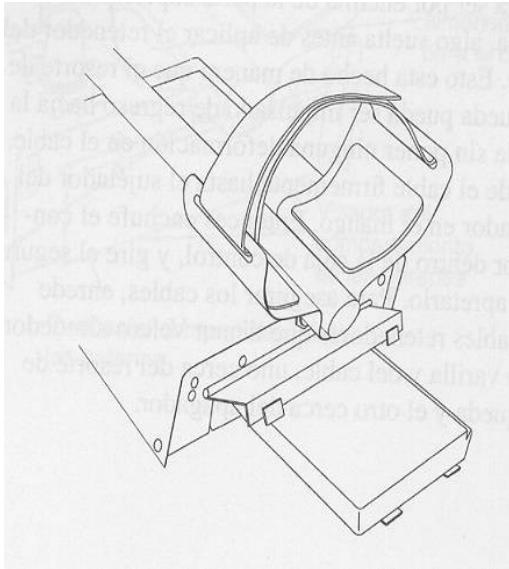
“ (標準の 24cm ループ) : 最大約 80cm

深いところにある金属は小さな音で反応します。この様な条件の場合はヘッドフォン (オプション) を使用することをお勧めします。

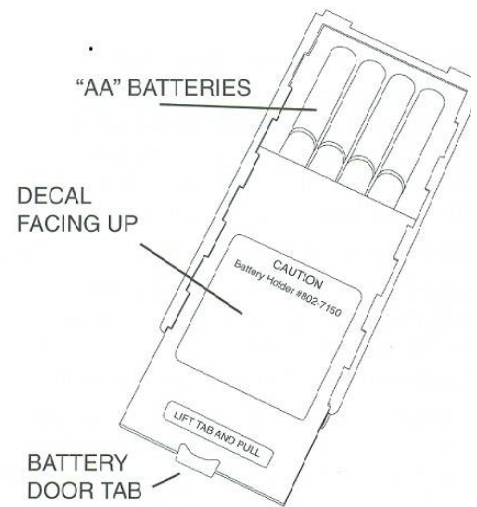
### 電池 (バッテリー)

購入時には標準電池ホルダーに単三電池を 8 本入れた状態で供給されます。標準の使用で約 20 時間程度使用可能。もっと長時間使用したい場合はアルカリ乾電池の使用がお勧めです。それから電池の向きは電池ケースに書いてある向きどおりに入れてください。間違えますと回路が損傷します。その際は修理に時間を要しますのでご注意ください。充電式の単三電池の使用も可能です。充電時には電池ホルダーから外して充電してください。

電池蓋の外し方



電池入れ内部



### Tuning & General Use (チューニング、一般使用)

**設定:**

MODEを 高感度のHIGHにして下さい。この設定で反応しすぎる場合は中感度のMEDにして下さい。次にループアンテナを地面に近付けて下さい。

常にループを地面に近い状態で左右に動かして下さい。右から左(またはその逆)まで約2秒程度で動かすのが理想的です。金属の場合は継続的な“ビー”という音がなりますので、 なった上を何回か動かして掘るべき位置が定まったらゆっくりと “X”を描くようにその上を動かして下さい。一番大きな音がしてメーターが一番ふれたところの下が目標物です。

### ON/TUNE

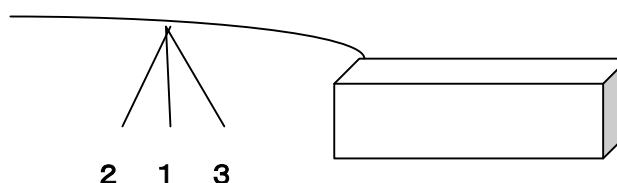
TUNE: TUNERは使用中に継続的にハム音(プーという音)が少し聞こえるか聞こえないか位に毎回セットして下さい。温度の変化、場所の違いによってもハム音を毎回調整しなければなりません。

**\* スピーカーからの音はほんの少しだけ聞こえる位に調整する事！**

## TRIGGER SWITCH

TRIGGER スイッチはハンドルに付いており何種類かの違った目的に使われます。

1. 中立位置 金属が真下にきた時に反応します
2. 前に押した位置 埋設金属の位置が分からない時に広範囲で検知します
3. 指で手前に引いた位置 引いたときだけ 1と同じ機能になります。ハウリング時にも引いて下さい



### メーター

メーターは電池の残量確認と金属の感知状態を視覚的に伝える為のものです。メーターと“ビーブ”音は同時に作動します。

### 40センチ ループ \*オプション

オプションの40センチループは大きな埋設物をより深い探知深度で見つける事ができます。あまり効果が得られない場合は多分小さな目標物だからでしょう。大きなループを使って探知作業をする場合は通常より少しゆっくりめで動かしてください。

### ヘッドフォン \*オプション

ヘッドフォンを使用した場合、電池の持ちをより長くします。また金属の反応をよりクリアーに伝えます。

### トラブルの解決方法

下記を参照すればメタルデテクターに不必要な問題が発生しないで済むでしょう。

不自然で途切れがちな“ビーブ”音が発生した場合は外的に起因します。おもに高圧線とか高電圧発生装置などから原因が発生する場合があります。

- 1) 途切れ途切れにシグナルが聞こえる場合は離れた場所に行って探知作業をして下さい。もし、妨害信号が多く入る場合は別な時間にまたやってみるのも一つでしょう。まれにそのような状況が決まった時間に生じることがあります。
- 2) 場所に関係無く問題が生ずる場合:デテクターが原因の場合もあります。電池ホルダーを機械から外して接点をきれいにふいてください。また 錆びがある場合はきれいに拭き取ってください。できたら別なループをつけてテストをして下さい。もし友達が似たループをもっている場合、それを付けてテスト

してください。ループの問題は通常、配線の問題から生ずることがおおいです。

- 3) 湿気によるトラブル: 極端な湿気は電気回路に問題を生ずることがあります。殆どの電気機器は湿度75%までの環境で使用するのが許容範囲でしょう。機器の電気回路がプラスチックでコーティングされているため、湿気によりそれが剥離することがあります。塩分と湿気が結びついた場合はかなり問題が生ずるでしょう。
- 4) もし湿気の多い場所で使用した場合、感想した暖かい場所においてください。また、電池ケースを本体からはずして電池ケースをあけて乾燥させてください。

#### 注意事項

- 1) 水分は機械にダメージをあたえます。ループは防水ですがループからコントロールボックスとコントロールボックスは防水では在りません。霧雨程度であれば問題はないですが雨や水中での使用は避けて下さい。または操作盤をナイロン袋等で被せ使用してください。
- 2) コントロールボックス外部を掃除するのはキッチンと絞った布で拭いてください。雨や浜辺で使ったあとは非常に腐食性がありますので特に掃除してください。
- 3) もしループを水中で使用した場合などはロッド(棒)に水が入っていますのでコントロールボックスより上に上げると水がボックスにはいって故障の原因となりますのでご注意下さい。
- 4) 熱や極端に寒い場所はディテクターに影響を与えます。若し使わない場合は日陰に置いてください。自動車の中に置く場合は直接日光にあたらないようにして下さい。逆に零下温度下においた場合も問題がでます。

**\* 真夏の自動車内や逆に真冬の自動車のトランク内などには置かない様にしてください。**

- 5) 使用の際は常識をもって使用下さい。重いものを乗せたり、乱暴に使ったりしない様にして下さい。もし使用しない場合は他の精密機械と同じようにデリケートな取り扱いをして下さい。